

18-11-05

多言語対応の案内機器を導入します

名古屋鉄道では、訪日外国人のお客さまのさらなる利便性向上を目的として、多言語による情報提供の充実を図ります。11月12日(月)から、名鉄名古屋駅をはじめとする5駅に、英語、中国語、韓国語などの外国語に対応する案内機器を導入します。訪日外国人のお客さまからのお問合せ対応や、輸送障害が発生したときなどにおける多言語での情報提供の実施などに活用してまいります。今後、導入駅を順次拡大し、多言語による情報提供の更なる充実を図ってまいります。

詳細は下記のとおりです。

記

1. 導入日

11月12日(月)

2. 導入機種

SOURCENEXT社製「POCKETALK® W」

係員が翻訳対象の言語を選択し、ボタンを操作しながらお客さまと交互に本機に向けて話すことにより、その翻訳結果がディスプレイ上に表示されるとともに、翻訳された内容が音声でも再生されます。なお翻訳対象の言語は74種類です。

Panasonic社製「メガホンヤク®」

放送内容を本機内蔵の定型文データベースから選択し、日本語・英語・中国語・韓国語の放送文を拡声器から再生します。

3. 導入駅及び導入台数

名鉄名古屋駅	各4台
金山駅	各2台
神宮前駅	各1台
常滑駅	各3台
中部国際空港駅	各3台
営業部他	各2台

4. 主な使用場面

乗車列車、乗換、沿線観光地等のご案内
異常時における情報提供や誘導案内など

5. お問合せ先

名鉄お客さまセンター TEL:052-582-5151

(月曜日～金曜日:8時～19時、土日祝:8時～18時)



POCKETALK® W



メガホンヤク®

以上